



地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では、関西地域ブロックおよび中国・四国地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

関西地域ブロックから

関西地域ブロック担当理事
石田 慎二(帝塚山大学)

関西地域ブロックは、年次大会・総会の開催(年1回)、若手研究者・院生情報交換会の開催(年3回程度)、機関誌『関西社会福祉研究』の発行(年1回)を主な活動としています。以下では、2024年度の活動について報告します。

なお、2025年度の活動については決まり次第、ホームページやメーリングリストで情報提供いたします。

○2024年度年次大会・総会の開催

開催日:2025年3月9日(日)

会場:神戸女子大学ポートアイランドキャンパス(D館)

テーマ:障害のある人たちの人権・権利擁護

○2024年度若手研究者・院生情報交換会の開催

3回実施予定でしたが、1回が台風により延期開催となったため、2024年度は下記の通り、2回のみ開催としました。

(第57回若手研究者・院生情報交換会)

テーマ:社会福祉学研究と学会活動～私たちのアカデミズムを考える～

開催日:2024年8月31日(土)台風接近により延期。2025年2月24日(月・祝)に実施。

場所:同志社大学今出川キャンパス寒梅館

(第58回若手研究者・院生情報交換会)

テーマ:社会福祉学における事例研究法

開催日:2024年11月23日(土・祝)に実施。

場所:同志社大学新町キャンパス臨光館

・それぞれの報告書は「地域ブロック情報 関西」からご覧いただけます。

<https://www.jssw.jp/district/kansai/>

○機関誌『関西社会福祉研究』の刊行

・2025年3月に第11号を刊行しました。

・2025年度も投稿論文を募集しています。投稿論文の締切は毎年8月末日です。関西地域ブロック会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。

会員の皆さまとともにより良い活動ができるよう、今後も引き続きご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

中国・四国地域ブロックから

中国・四国地域ブロック担当理事

石井 洗二(四国学院大学)

中国・四国地域ブロックの主な活動は、ブロック大会の開催、機関誌の発行、会報の発行、共同研究などです。

2024年度第55回ブロック大会は山口県立大学で「子どもの権利保障を考える～子どもを中心とする社会の実現を目指して」というテーマで7月14日に開催されました。基調講演、シンポジウムに加えて、4分科会で15題の自由研究発表が行われました。2025年度第56回大会は「現代社会の孤独と孤立-社会福祉実践におけるつながりの醸成」というテーマで7月12日(土)に聖カタリナ大学で開催されます。

機関誌『中国・四国社会福祉研究』は年1回電子媒体により発行されています。2025年1月に第12号が発行され、2023年度ブロック大会の基調講演と3本の投稿論文が掲載されています。機関誌の編集はブロック機関誌編集委員会が担当し、投稿論文は複数の査読者による査読を経て掲載に至ります。地域ブロック機関誌は学会ホームページ「地域ブロック情報」に掲載されています。

会報は年2回電子媒体により発行されており、昨年度は24-1号、24-2号が発行されました。ブロック大会、機関誌、共同研究などのお知らせの他に、巻頭言、リレーエッセイなどで会員相互の交流を図っています。地域ブロック会報も学会ホームページに掲載されています。

会員連携の共同研究として、現在、地域ブロック特別研究「社会的養護の現状と今後-家庭養護への移行に伴って」を行っています。2024年度から2025年度までの研究期間で、現在の中四ブロ

ックの学会員5名が共同研究を行っています。また、今年度から新たに「中国・四国地域ブロック研究助成事業」を実施しています。これは、中四ブロックの会員3名以上による共同研究に対して研究費用を助成する事業です。2025年度は選考の結果、1件の研究に対して助成を予定しています。

これら活動は、年4回開催されるブロック運営委員会での話し合いを通じて運営されています。ブロック役員の先生方は大学の業務などでご多忙の中、中四ブロック活動の活性化のために協力してくださっています。

地方における著しい少子高齢化や人口減少など厳しい現実を受け止めて、これからの地域の縮退（shrink）にどのように向き合うのか、考えなければならない課題は尽きません。今後も、中国・四国地域の特性を踏まえたブロック活動を模索していく必要があると思います。ブロック内外からのご協力とご指導を、よろしくお願いいたします。